

演習 II

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

瀬藤 芳哉

1. 授業の概要(ねらい)

春季の演習では、マクロ的な視点から、アジア等の政治・経済・社会・文化等を取り上げた。秋季では、より具体的に海外での企業活動の研究に重点を置く。企業が国際的マーケティングをどのように行っているか等の観点を通じ、企業活動を分析する。

ゼミでは①受講生が、取り上げる企業・業界を決める。担当者は担当企業・業界についてレジュメで報告し、全員で質問・討論する。②グループを作り、取り上げる業界を選ぶ。担当グループは業界の内容・状況についてレポートを作成し、その報告に基づき、質問・議論する。③海外ビジネスや調査に携わっている外部講師による講義を1~2回行いたい。

こうした過程を通じ、メンバーが討論や発表方法を学び、経験を積めるようにしたい。また企業活動の調べ方を身に付け、就活の参考にもなるようにしたい。発表内容の優れたグループはゼミ報告会での発表を目指す。

なお、ゼミの進行状況、メンバーの関心等を踏まえ、運営方法や内容を変更することもあります。

2. 授業の到達目標

- ・ 企業の進出先国(アジア等)の政治・経済・文化を把握する。
- ・ 海外展開している企業(大企業、中小企業)の状況を把握し、課題と戦略を考える。
- ・ 討論と発表の経験を積み、グループ内や人前で積極的に発言できる。

3. 成績評価の方法および基準

レジュメ(個人)の内容と発表:30%、レポート(グループ)の内容と発表:40%、授業への参加・態度・貢献度(質問等の発言):30%

4. 教科書・参考文献

教科書

大石芳裕 『日本企業のグローバルマーケティング』(白桃書房)

参考文献

岩谷昌樹 『大学生のための国際経営論』(創成社)

安積敏政 『中堅・中小企業のアジア進出戦略「光と影」』(日刊工業新聞社)

安積敏政 『サービス産業のアジア成長戦略』(日刊工業新聞社)

5. 準備学修の内容

- ・ テーマの予習。レジュメ、レポートの作成。
- ・ 新聞、書籍、映像等で海外の風物や企業の海外活動の事例に触れる。出来れば、英語のニュースや文献に触れる。

6. その他履修上の注意事項

- ・ 授業への参加・貢献を期待しています。受講態度(私語の有無、他)も重視します。
- ・ レジュメやレポートの作成にあたっては、自分の言葉で、分かりやすくまとめる。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション:ゼミの進め方や学習の仕方などを説明する。 |
| 【第2回】 | 国際マーケティングについて(講義) |
| 【第3回】 | 担当企業・業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第4回】 | 担当企業・業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第5回】 | 担当企業・業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第6回】 | 担当企業・業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第7回】 | 担当企業・業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第8回】 | 外部講師による講義(仮) |
| 【第9回】 | グループの組成と担当業界の決定 |
| 【第10回】 | 担当業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第11回】 | 担当業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第12回】 | 担当業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第13回】 | 担当業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第14回】 | 担当業界について発表する。(電機、通信、化学、自動車、サービス等のどれか) |
| 【第15回】 | まとめ。最終レポートを提出する。 |